



TITLE:

京大東アジアセンターニューズレター 第568号

AUTHOR(S):

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター

CITATION:

京都大学経済学研究科東アジア経済研究センター. 京大東アジアセンターニューズレター 第568号. 京大東アジアセンターニューズレター 2015, 568

ISSUE DATE:

2015-05-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/197900>

RIGHT:

2015 年 5 月 4 日発行 第 568 号

CONTENTS

第 13 回 アジア中古車流通研究会のお知らせ	2
読後雑感：2015 年 第 11 回	3
上海街角インタビュー 78.....	13
【中国経済最新統計】	16



第 13 回 アジア中古車流通研究会のお知らせ

主催：京都大学東アジア経済研究センター

後援：京都大学東アジア経済研究センター支援会

2015 年 5 月 23 日(土) 13 時

於 京都大学経済学部 みずほホール (法経東館地下 1 階)

司会

1. 自己紹介 13:00-13:20

2. 報告 13:20-15:00

□深尾 三四郎 (浜銀総合研究所調査部産業調査室副主任研究員)

マクロ統計分析から読み解く国内新車販売市場と中古車輸出市場の現状

□藁科 吉晴 (フジヤマトレーディング代表取締役社長 日本中古車輸出業協
同組合副理事長)

2015 年中古車輸出概要－業界概要と課題点－

3. ディスカッション 15:10-16:15

研究会終了後 17:00-19:00 懇親会

今回は研究会,懇親会ともに出欠をとります。懇親会は先着申込 20 名とさせていただきます。

なおこの研究会は京都大学東アジア経済研究センター協力会の法人会員・個人会員のみが参加できるクローズドな研究会です。非会員で参加希望の方は塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp まで協力会への入会手続をお問い合わせください。

読後雑感：2015 年 第 11 回

1. MAY. 15

アジア・アパレルものづくりネットワーク代表理事

株式会社小島衣料オーナー

東アジアセンター外部研究員

小島正憲

I. 特集：元気な超高齢者

1. 「111 歳、いつでも今から」
2. 「103 歳になってわかったこと」
3. 「100 歳の幸福論」

II. 特集：クスリ

1. 「日本人はなぜ、“薬”を飲み過ぎるのか？」
2. 「断薬のススメ」
3. 「薬が人を殺している」
4. 「その薬があなたを殺す！」
5. 「薬で治るというウソ」
6. 「クスリに殺されない 47 の心得」
7. 「病気はクスリでは治らない」
8. 「薬があなたの体をダメにする」

I. 特集： 元気な超高齢者

後藤はつの（111 歳）、篠田桃紅（103 歳）、笹本恒子（100 歳）の 3 氏に共通しているのは、「感性豊かな、独り身の超高齢女性」ということである。後藤はつの氏は、現役画家で、38 歳で夫に死に別れてから独り身である。篠田桃紅氏は、著名な現役美術家で、生涯独り身である。笹本恒子氏は、現役写真家で、70 歳で夫に先立たれてから独り身である。日本人の平均寿命は女性が 87 歳、男性が 80 歳であり、日本社会に女性の高齢者が多いことは衆知の事実である。しかし、その理由はさだかではない。この 3 氏の生き様を読んでいると、「ひょっとすると、感性豊かで、独り身を楽しむことが長寿の秘訣かもしれない」などと思ってしまう。なにごとにも理性的に処理しようとし、独り身を楽しむことのできない男性は、寿命が短いのだろうか。私は、徒に長生きしたいわけではない。そんな生への執着のなさが、男性の寿命を短くしているのだろうか。

1. 「111 歳、いつでも今から」 後藤はつの著 河出書房新社 2015 年 2 月 28 日

副題 : 「73 歳からの画家デビュー、100 歳越えてニューヨークへ……笑顔のスーパーレディの絵とエッセイ」

帯の言葉 : 「100 歳なんて、まだまだこれから！ はつのさんは、私にとって人生のモデルです。 日野原重明」

後藤はつの氏は、73 歳で画家デビューし、96 歳のとき現代童画展で文部大臣奨励賞を受賞し、106 歳でニューヨークでの個展に挑戦するという、111 歳のスーパーレディである。もっとも、はつのさんは、幼少の頃、岡倉天心を「天心おじさん」と呼んで親しんでいたそうで、そのときの刷り込みが長じて開花したのではないかと思わせる。はつのさんは、76 歳のとき、絵を習いに行く途中で股関節を骨折したぐらいで、現在もすこぶる健康で、「できるかできないかではなくて、やるかやらないかね。100 歳なんて、まだまだこれから」と意気軒昂である。

2. 「103 歳になってわかったこと」 篠田桃紅著 幻冬舎 2015 年 4 月 10 日

副題 : 「人生は一人でも面白い」

帯の言葉 : 「“いつ死んでもいい”なんて嘘。生きているかぎり、人間は未完成」

篠田桃紅氏は、「これまで私は、長寿を願ったことはありませんでした。死を意識して生きたこともありません。淡々と、生きてきました」、「私には死生観がありません」と言い切る。また「私は、24 歳で実家を出てから、ずっと一人で暮らしていますが、孤独をあたりまえだと思っています。一人の時間は特別なことではなく、わびしいことでもありません。誰かが一緒にいないと寂しくてたまらない、と思ったこともありません」と語り、「人生は一人でも面白い」と言い放つ。

また篠田氏は、「103 歳になってわかったこと」として、「日々、違う。生きていることに、同じことの繰り返しはない」、「老いたら老いたで、まだなにができるかを考える」、「夢中になれるものが見つかれば、人は生きていて救われる」、「真実は見えたり、聞こえたりするものではなく、感じる心にある」、「知識に加えて、感覚も磨けばものごとの真価に近づく」、「自分の心が一番尊い、と信じて、自分一人の生き方をする」などという言葉、本書に書き残している。

3. 「100歳の幸福論」 笹本恒子著 講談社+α文庫 2014年11月20日

副題： 「ひとりで楽しく暮らす、5つの秘訣」

帯の言葉： 「日々、発見ね」

笹本恒子氏は、「女性は50代、60代になると、それまでとらわれていたものから解放されて、“自分”になってくるのです。そこで初めて個性が顔を出すのです。爛熟期はそういった年頃。ですから爛熟期をどう過ごすかで、人生のバラ色度がまったく違ってきます」と語り、「人生の転機は好奇心から生まれる」、「みなさまに申し上げたいのは、人生では“もう遅い”という年齢はないということです。そのときどきのお年で、思いついたことに取りかかってみてください。何回だって、やり直して大丈夫、ひとつダメなら、次、とチャレンジしてみればいいのです。あきらめないで、希望を持って生き続けることこそが、バラ色の人生」と、本書で高齢者に檄を飛ばしている。

笹本氏自身も、93歳で脊柱管狭窄症となり、激しい腰痛に悩まされながら、「いくつになっても恋をする。バラ色の人生に欠かせないもの、それはもちろん恋」を、実践？しているという。2014年には、「笹本恒子 100歳展」を全国各地で開き、講演活動など多忙な生活に明け暮れている。

II. 特集： クスリ

最近、巷には、「薬の害」を説く本が氾濫している。私が店頭で見かけただけでも、10冊に及ぶ。この類の本に関心を持つ人（高齢者？）が多く、著者や出版元が儲かるのであろう。かくいう私も、高血圧・糖尿病・高脂血症などの薬を毎日飲み続け、緑内障のため眼圧を下げる目薬を毎日注している。しかし著しい効果があり、病気が治っていくという実感はまったくない。もともと高血圧・糖尿病・高脂血症などの自覚症状はなかったのだが、人間ドックの結果、医師のススメがあって服用するハメになっているのである。下記の本の中では、主張の強弱はあれ、これらの薬の服用は無意味であり、むしろ副作用を心配すべきだというのが、共通見解である。まだ私には副作用らしきものは現れていないが、これらの本の著者たちが主張する「薬の害」については、納得できる点が多いので、できるだけ早い機会に、薬依存から脱却しようと考えている。それは自分自身のためにもなり、その実践を通じて日本国家財政の立て直しに、少しでも貢献したいと思うからである。下記の本の中では、名郷直樹氏の「薬で治るというウソ」（ビジネス社）が、もっとも参考になった。名郷氏は、「高齢者はあまり効き目のない薬を飲むのではなく、医者通いや薬の服用をきっぱりやめて、心豊かに余生を楽しむこと。どうせ薬を飲んでも、寿命が何年か伸びるだけである。それよりも、そのお金を若い人に回せ」と主張している。まさにこれは至言である。高齢者が

医療費を使わなければ、おそらく国家財政はかなり楽になる。私はこの際、法律を改正し、「後期高齢者の医療費は実費負担」ということにしたらどうかと思う。もうすぐ私も後期高齢者の仲間入りをするわけで、このような提案はかなり勇気が要ることだが、これで国家の赤字財政を少しでも改善することができるとすれば、死を持って社会に貢献できるわけであり、望むところである。どうせ、あまり効き目のない薬を飲んだところで、数年、寿命が伸びるだけなのだから。

1. 「日本人はなぜ、“薬”を飲み過ぎるのか？」 宇多川久美子著 KK ベストセラーズ

2015 年 4 月 5 日

副題：「薬では病気が治らない本当の理由！」

帯の言葉：「医者よりも“薬”に詳しい薬剤師が、見てきた医薬の真実」

- ・高齢者人口の急激な増加にともなって、日本の医療は外来・在宅型にシフトしつつあります。これが促進されると、さらに薬漬けが深刻になることが予測されます。医師も人出不足で自宅や老人ホームなどに、頻繁には訪問できません。すると、「念のため処方が多くなってしまうからです。
- ・心療内科やメンタルクリニックの類は、既にその数は全国で 1 万件を超えており、大都市では過当競争になっています。一気にこれほど増えたのは、街の外科や内科、産婦人科と違って高額な機械や入院設備を揃える必要がないので、簡単に開業できるということがあります。
- ・巨大な多国籍製薬企業（ビッグファーマ）は 10 万人前後の社員を抱えているため、恒にヒット商品をつくり出さないと生き残ることができません。そのため、大きな売り上げを見込める強力な商品は、流通段階から、各国で影響力のある学会や政治家を味方につけて早期承認を働きかける。※英国に本社を置くビッグファーマのグラクソ・スミス・クラインは、2014 年 9 月、中国で病院や医師などへの贈賄で、530 億円の罰金と 5 名への実刑判決を受けた。
- ・今は複数の抗生剤が効かない多剤耐性菌がどんどん広がりを見せる一方で、新しい抗生剤がなかなか生まれないというお先真っ暗な状況になっています。
- ・タミフルはインフルエンザにはほとんど効かないうえ、高い確率で副作用が出る。EU と米国では、タミフルは売れず、WHO がパンデミックの恐怖を煽り、在庫一掃に協力したので、ロッシュとグラクソ・スミス・クラインは日本から 1 兆円強の大儲け。
- ・外見は日本製、中身は外国製（中国や韓国を含む）というジェネリックは、日本で流通しているジェネリックの約 5 割を占めるまでになっている。

- ・日本ではコンビニの数よりも薬局の方がその数が多い時代なのです。
- ・誰にでもできる「食習慣」と「歩くこと」、これが薬に頼らない、健康的な生活を送るための基本です。

2. 「断薬のススメ」 内海聡著 KK ベストセラーズ 2015年3月25日

副題：「薬の毒を卒業するたった一つの方法」

帯の言葉：「すべての薬は毒である！」

- ・医者の中で人を助けたいとか考えている者はただの一人もいない。
- ・私は研修医のころから、臨床医も研究医も教授もアホの極みだと思っていた。そしてそれ以上に患者も患者の家族も金を貢ぎに来るアホの極みだとは思っていなかった。患者や患者の家族はまさに薬物中毒のジャンキーであり、薬をやめても重度の依存症だとは思っていなかった。
- ・みなさんが飲んでる西洋医学の薬は“すべて毒”です。その場がよくなったように見せかけることはできますが、すべて根本的に治しているものは存在しません。それが現代医学の正体です。対症療法で使う薬は、毒とは書いていませんが、結局は毒なのです。良くなっているように見えても、実際は毒で抑えつけているだけで治癒していません。先延ばしになっているだけの話なのです。
- ・放置しておけば、死に直結しそうな場合やからだの機能を喪失するものだけを、西洋医学が扱う必要生があるということです。脳梗塞や吐血、または交通事故のときなどです。
- ・そもそも健康というのは目的ではありません。健康はあくまでも手段です。人生において自分が成し遂げたい目的のためには、健康な状態でいたほうがよいだけです。健康を目的にしてしまうと、それはただの健康オタクです。医学不要論の基礎は、健康でいたければ健康になるなということです。健康ばかり追い求めている人は不健康になります。健康という、目的ではない途中の手段でしか過ぎないものに執着しているから健康になれないのです。
- ・ヘロイン患者でもコカイン患者でもすべてそうですが、やめられ人がこの世にはたくさんいます。しかしやめられる人にはすべて共通の特徴があります。それは気づいた時に心の底から自分のことをクズだと思っているということです。要するに、徹底的に一度自己批判しているということです。
- ・すべてのワクチンに効果はありません。あらゆるワクチンは必ず別の病気を生み出します。子宮頸がんワクチンであれ、インフルエンザワクチン、ポリオワクチン、ヒブワクチン、MMR の麻疹や風疹のワクチン、DTP のジフ

テリアや破傷風、百日咳のワクチン、B型肝炎のワクチン、BCG、すべて効かないということがわかっています。

- ・内科でオーソドックスに処方される無駄な薬の代表格が、降圧剤とコレステロールの薬です。骨粗鬆症の薬もまったく無駄。
- ・市販薬で飲んではいけないものの代表格は栄養ドリンクです。あれは、ただのカフェインとアルコールで無理に人を刺激しているだけです。
- ・社会毒の中ではマーガリンがあげられます。

3. 「薬が人を殺している」 内海聡著 竹書房新書 2015年3月23日

副題：「知っておきたい有害作用と解毒のすすめ」

帯の言葉：「だから日本人はガンで死ぬ！」

- ・医原病＝医療行為が原因で生じるさまざまな疾患や病状の悪化のこと アメリカの死因のトップは医原病
- ・アメリカ人の死亡や負傷の原因の第一の原因はアメリカの医療システムである。

1973年、イスラエルで医師の部分ストライキが実行されました。このストライキは約1か月続いたのですが、その間イスラエルの病院ではそれまで1日に診察される患者の平均数が約65000人だったのが、7000人に制限されることになってしまいました。ところがこのストライキ期間中のイスラエル国内の死亡率は半減しました。

- ・精神薬は麻薬と同じ
- ・抗ガン剤はガンを治さない
- ・砂糖はまさに食で精製された最初の麻薬であり、強い依存性をもっているのです。まずは甘いものを除外していくこと、それこそが病気にならないための第一歩だといえるでしょう。

4. 「その薬があなたを殺す！」 小谷寿美子著 SB新書 2015年3月25日

副題：「薬剤師が教える“知らないと毒になる”薬の話」

帯の言葉：「“飲み慣れた薬”が、こんなにこわい！」

この本は、薬の飲み方のハウ・ツー本のようなものであり、他書のように、薬を全否定したものではない。

- ・薬は使い方によって、毒にも薬にもなる。
- ・抗生物質を飲むのを途中でやめると、生き残った菌が異常繁殖し、その抗生物質は効かなくなる。

- ・風邪薬を飲んでいるのにアルコールをたしなむと、ひどいときは肝臓を破壊する。
- ・間質性肺炎の症状に咳止めを飲むと、死ぬ可能性がある。
- ・頭痛の 80%は肩のゆがみを矯正すれば治る。
- ・目の病気は薬よりビタミン剤が効く。
- ・水がきれいな今、簡単な傷に、マキロン、ヨードチンキなどの消毒液はいらない。
- ・あまちゃんのベビーパウダーは過去のもの。今は汗を拭き取って終わり。

5. 「薬で治るというウソ」 名郷直樹著 ビジネス社 2015年2月1日

帯の言葉：「病気は薬でつくられる！ あなたの不調の原因はクスリにある！？」

- ・高齢者の高血圧まで国が面倒を見ていたら、財政が破綻するのは当たり前。
 - 病気を心配すべきなのは働き盛りのお父さん、高齢者は放っておくのも案外いい。現状は高血圧に気をつけなければいけない若い人たちが気をつけなくて、そんなに気をつけなくてもよい高齢者が万全を期して気をつけている。
 - ・降圧剤を飲む人と飲まない人では脳卒中や心筋梗塞になる人が劇的に変わるのかというと実はたいして変わらない。
 - ・70歳を過ぎたんだからもう薬なんて飲まず、薬代は別の楽しみに使って生きたらどうですか？ それで脳卒中になって死ぬなら、それも一つの生き方じゃないですか？ 高齢者でふだんはまったく検診を受けず、「なんか調子悪いなあ」と思って検査を受けたら進行ガンで、1か月くらいであっという間に亡くなるというのは、ある意味、すごくいい死に方だと思います。あまりいろいろな人に迷惑をかけず、医療費もかけずに亡くなっていくわけですから。
 - ・公費でまかなっている高齢者の薬を早急に減らす。
 - ・医療も薬も一切拒否して亡くなっていった老人の潔さ。
- 薬を飲めば脳卒中を5年後に先延ばしした場合、その5年間で、自分は世の中に対してどうしようと思っているのか？ 医療費や年金を使うだけじゃないのか。社会に貢献できないのなら、早く死んだ方がいいんじゃないの。自分が使わなかった医療費や年金が若い世代に使われるなら、そっちのほうがよほどよい生き方じゃないか。
- 薬をどこでどうやってやめるかは本当に難しい問題です。でも、これはど

こかでちゃんと向き合って考えなければいけません。医療費の問題はその人だけでなく、今の社会や将来につながっていることだからです。

- ・薬を飲むときに押さえておきたい3つのポイント、①十分に効果が望めるか、②副作用が少ないか、③薬価に見合っているか。
- ・医者はずねに「自分は正しい」という思い込みが激しい職業。
- ・多くの医者が製薬メーカーに勧められた薬を言われるがまま患者に処方している。
- ・はっきり言うと、病気は薬で完治なんてしません。
- ・多くの胃薬はどう効いているのかほとんどわかっていません。
- ・うがい薬より水でうがいしたほうが、より効果が高い。
- ・予防接種は副作用があるが、効果は絶大！
- ・本来、独立機関で公正であるべき学会が、製薬メーカーと癒着している。

6. 「クスリに殺されない47の心得」 近藤誠著 アスコム 2015年1月25日

副題：「体のチカラがよみがえる 近藤流“断薬”のススメ」

帯の言葉：「クスリを飲む前にならず読んでください」

- ・日本人にボケ、うつ、寝たきりが多いのは、「薬害」と僕は見えています。
- ・じつはクスリの9割に病気を治す力はなく、症状をしばらくうやむやにするだけです。クスリには必ず副作用があり、年をとるほど、クスリの毒が体にたまりやすくなります。
- ・クスリが必要なケースは2つしかないー①心筋梗塞などの、命にかかわる症状がある場合、②そのクスリを飲んだことで、飲む前より明らかに健康状態がよくなっている場合。
- ・身もフタもない言い方ですが、なにをしてもしなくても、本物のがんは治らないし、がんもどきは命にはかかわらない。
- 患者さんから「食べ物で気をつけることは？」と聞かれると、僕はいつも「玄米菜食や断食をしないこと、やせて体力が落ちて、早死にするから」と答えています。
- ・100歳を超えて元気な人はみんな肉、卵、乳製品などの動物性タンパク質をしっかり摂り、ベジタリアンはほぼ皆無。
- ・炭水化物を摂らなければ血糖値は上がらないので、血糖値が気になる人は、まずご飯、パンなどの主食とめん類を今の半分以上に減らしてみてください。
- ・白砂糖は特に高カロリーではないし、おやつや料理に使われるぐらいの

量で、血糖値を乱高下させて糖尿病を招いたり、人をキレやすくすることもあります。

7. 「病気はクスリでは治らない」 蔡篤俊著 主婦と生活社 2014年12月19日

副題：「“本当に病気を治す”たったひとつの方法」

帯の言葉：「危ない現代医療の真実！ 薬は怖い！」

- ・私は、10万人以上の患者さんを診てきましたが、病気に対して効く薬はないと確信しています。
 - ・人間は、人体に悪影響を及ぼす化学薬品をすぐに排泄できる仕組みを持っていないのです。
 - ・油性の化学薬品が体内に入ること、体内で渋滞が起こり、本来排出すべき不要なものも、体内にため込んでしまうのです。体内にため込んだ成分が、長い月日を経て徐々に身体に悪影響を及ぼし、その結果として症状が出るのです。ため込むのではなく、排出させることこそが、症状を改善し、病気を根本から治すことにつながるのです。
 - ・医師の指示通りに化学薬品を使っていた人ほど、治りが遅い。
 - ・ステロイドを人工的な薬として多量に体内に入れてしまうと、副腎の機能は低下します。ステロイド剤を使用してはいけません。皮膚病でステロイド剤を使えば使うほど、症状がひどくなります。
 - ・私は悪い因子を、「瘀血（おけつ）」と称しています。「瘀血を取る」ことこそが、病気を根本的に治す方法なのです。
- あらゆる病気の原因は、瘀血にあり、瘀血を取り除くことが、病気の根本的な治療法です。薬を飲まない。瘀血をためない。薬や健康食品などに頼ってはいけません。病気を引き寄せるだけです。
- ・現代社会には、健康な人の自然治癒力を阻む要因がいろいろあります。ひとつは体内の異物である化学薬品で、最悪ともいえるのですが、それ以外にも、ストレス、疲労、不必要な脂肪やタンパク質なども、自然治癒力を低下させる。

8. 「薬があなたの体をダメにする」 大櫛陽一著 永岡書店 2014年12月10日

副題：「コレステロール・血圧・血糖値 下げるな危険！」

帯の言葉：「低下薬、降圧剤は飲まないほうが長生きできる」

- ・私はそもそも、コレステロール、中性脂肪、血糖、血圧などのほとんどは、薬で下げる必要はないと考えています。

- ・年齢とともにコレステロールや血圧の値が高くなっていくのも、「体を老化から守るための生理現象」であり、健康であることの証拠なのです。
- ・動脈硬化を起こす本当の原因は血管の炎症であり、LDL コレステロールは、その炎症を修復する目的で細胞膜の材料を届けに集まっているにすぎない。「卵は1日に1個まで」なんていうのは「コレステロール値と心疾患が結びつけて考えられていた頃」の間違った常識です。1日に何個食べたって構いません。
- ・なぜ、こんなにも基準値が厳しいのか。それは、製薬メーカーがコレステロール低下薬を売ってお金を儲けるため。基準値が厳しければ厳しいほど、病気と診断される人が増え、薬が売れることになります。そして、厳しい基準値を設定した学会や医師のもとには、製薬メーカーから、見返りとして多額の寄付金がかっぱり転がり込んでくるというカラクリです。すでにコレステロール低下薬を服用してしまっている方は、できるだけ早く服用中止に踏み切るべきだと思います。コレステロールの高い食品を食べようとも、血液中のコレステロールが増えるようなことはないのです。もちろん太るようなこともありません。それでは太る原因は何か。それは炭水化物の摂りすぎです。
- ・中性脂肪はたとえ健康診断の数値が高くても、病気に結びつくことはありません。
- ・健康のため、長生きのためには、動物の肉をもっとどんどん食べたほうがいい。健康維持のためには、「動物性脂肪を摂らなくてならない」と考えたほうがいいのです。
- ・牛乳やチーズなどの乳製品も積極的に摂ることをおすすめします。
- ・トランス脂肪酸を含むマーガリンやショートニングは危険。
- ・日本で行われている糖尿病予防対策と治療法は根本的に間違っている。
- ・あらゆる栄養素の中で、食後血糖値を上げるのは「炭水化物だけ」です。
- ・「糖尿病学会ガイドライン」が示すような高い割合で炭水化物を摂っているのは、血糖値が下がるわけがない。
- ・「糖質制限」をすれば、薬に頼らずとも血糖をコントロールしていくことができます。
- ・「必要のない薬」をカットすれば、医療費が減らせる。高脂血症で年間1兆円、高血圧関係で1.7兆円。

以上

上海街角インタビュー ⑦

社団法人大阪能率協会アジア・中国事業支援室副室長（海外委員）

順利包装集団董事（在上海）

福喜多技術士事務所所長

福喜多俊夫

「二つの百年」を知っていますか？

今年の全人代の記事を読み返していたら、先に話題にした「4つの全面」とともに「两个一百年」（二つの百年）という言葉がよく出ていた。

この言葉は昨秋の第18回党大会で提起されたもので、『小康社会を全面的に達成し、社会主義現代化の迅速な推進を目指す壮大な青写真を描き、「二つの百年」の努力目標に向かって邁進する』というものである。「二つの百年」とは、まず、中国共産党成立100年に当たる2021年に小康社会建設を達成し、国内総生産（GDP）と都市・農村部住民の所得を2010年比で倍増する。その次に、中華人民共和国が成立100年を迎える2049年に富強・民主・文明・調和をかなえた社会主義現代国家の建設を達成し、中等先進国の水準に達する。というものだ。中国網の記事では、「二つの百年」の努力目標は、「中国の夢」の壮大な青写真と明るい将来を具体化している。「二つの百年」の目標実現は「中国の夢」実現の基礎であると強調されている。

さて、上海市民は「二つの百年」を知っているだろうか？ 中国網の記事をコピーして持ち、聞いてみた。

1. 40歳代後半の男性

全く知りません。（中国網の記事を見せると）日本人は中国のことをよく勉強していますね。でも、こんなのはスローガンですから、何の意味もないですよ。

2. 50歳代前半の男性

聞いたことがあるような気がします、何のことかよく知りません。（中国網の記事を見せると）最初の所得倍増については、労働者の最低賃金は毎年10%以上上がっているし、私の給料も2010年比でみればすでに倍近くになっているから、これは2021年まで待たなくともあと数年で達成ですよ。二番目については何を言っているのかよく分かりません。

3. 30歳代前半の女性

「二つの百年」については全く知りません。勿論「中国の夢」はよく知っています。

もっとも「中国の夢」の中身はよく知りませんが、誰もが、もっと豊かな中国になって欲しいと思っています。（中国網の記事を見せると）これは学校の愛国教育用の文章ですね。たぶん学生はよく知っているでしょう。大部分の人は政府のスローガンには関心がありません。

4. 40歳代中頃の女性

初めて聞きました。学生は多分知っているでしょう。彼らは学校で思想教育を受けていますから。たとえば、私は「四个現代化」というのを中学校の頃習いましたから、今でもよく覚えています。（「四个全面」を知っているかと訊ねたところ）それは何ですか？ 聞いたことはありません。「两个一百年」も「四个全面」も学生に聞くといいですよ。

大学生は勉強しないから、聞くのなら中学生がいいです。

5. 50歳代前半の男性

「两个一百年」は聞いたことはありますが、どういう意味か知りません。（中国網の記事を見せると）なるほど、こういう意味ですか。でも、これを信じる人はいないでしょう。70年代の周恩来の「四个現代化」から鄧小平の「先豊論」まで、それを信じた人は裏切られ続けましたから。共産党政権の良さも理解していますが、人民への分け前が少なすぎます。

6. 40歳代後半の女性

私は知りません。（傍の中学高学年くらいの子供に中国網の記事を見せて知っているか聞いたところ、学校で習ったから知っていると言った）政治や経済については子供の方がよく勉強しているから、今度からは子供に聞いてください。

7. 20 歳代前半の女性

ネットで見たことがあります。よく出ていたのは去年です。でも、中味に興味を持って読んだことはないので、内容はよく知りません。(記事を見せると)いつも同じですね。スローガンは掲げるけれど、具体的にどのように実現するか曖昧です。半年も経てばみんな忘れてしまいます。

8. 60 歳代中頃の男性

よく知っています。私は暇だからネットで人民網や新華網を読むので、こういうことには詳しいです。意味もよく知っています。信じているかどうかは別ですが党の主張はよく理解しています。

予想通り、「四つの全面」と同じように殆どの人が「二つの百年」を知らなかった。

上海人は政治に関心を示す人は少ないが(関心がないように振る舞っているのかも知れないが)、まあ、日本人も政治に関心が高いとは言い難い面があるので、ことさら上海人はと強調することもないのかもしれない。

因みに、私が持ち歩いた中国網の記事は以下のものである。

“两个一百年” 奋斗目标

中共十八大描绘了全面建成小康社会、加快推进社会主义现代化的宏伟蓝图，发出了向“两个一百年”奋斗目标前进的时代号召。该奋斗目标是，到 2021 年中国共产党成立一百年时全面建成小康社会，国内生产总值和城乡居民人均收入比 2010 年翻一番；到 2049 年中华人民共和国成立一百年时建成富强民主文明和谐的社会主义现代化国家，达到中等发达国家水平。“两个一百年”奋斗目标，将中国梦的宏伟蓝图和光明前景具体化，实现“两个一百年”奋斗目标是实现中国梦的基础。(中国網 2014. 11. 18)

以上

【中国経済最新統計】

	① 実 質 GDP 増加率 (%)	② 工 業 付 加 価 値 増加率 (%)	③ 消費財 小売総 額増加 率(%)	④ 消費者 物価指 数上昇 率(%)	⑤ 都市固 定資産 投資増 加 率 (%)	⑥ 貿易収 支 (億ドル)	⑦ 輸 出 増加率 (%)	⑧ 輸 入 増加率 (%)	⑨ 外国直 接投資 件数の 増加率 (%)	⑩ 外国直 接投資 金額増 加率 (%)	⑪ 貨幣供 給量増 加 率 M2(%)	⑫ 人民元 貸出残 高増加 率(%)
2005年	10.4		12.9	1.8	27.2	1020	28.4	17.6	0.8	▲0.5	17.6	9.3
2006年	11.6		13.7	1.5	24.3	1775	27.2	19.9	▲5.7	4.5	15.7	15.7
2007年	13.0	18.5	16.8	4.8	25.8	2618	25.7	20.8	▲8.7	18.7	16.7	16.1
2008年	9.0	12.9	21.6	5.9	26.1	2955	17.2	18.5	▲27.4	23.6	17.8	15.9
2009年	9.1	11.0	15.5	▲0.7	31.0	1961	▲15.9	▲11.3	▲14.9	▲16.9	27.6	31.7
2010年	10.3	15.7	18.4	3.3	24.5	1831	31.3	38.7	16.9	17.4	19.7	19.8
2011年	9.2	13.9	17.1	5.4	24.0	1549	20.3	24.9	1.1	9.7	13.6	14.3
2012年	7.7	10.0	14.3	2.7	20.7	2303	7.9	4.3	▲10.1	▲3.7	13.8	15.0
2013年	7.7	9.7	11.4	2.6								14.1
2月				3.2		153	21.7	-14.9	-35.6	6.3	15.2	15.1
3月	7.7	8.9	12.6	2.1	21.5	-9	10.0	14.2	-19.7	5.7	15.7	14.9
4月		9.3	12.8	2.4	19.8	182	14.6	16.6	13.9	0.4	16.1	14.9
5月		9.2	12.9	2.1	19.7	204	0.9	-0.1	-14.4	0.3	15.8	14.5
6月	7.5	8.9	13.3	2.7	19.9	271	-3.3	-0.9	-17.3	20.1	14.0	14.1
7月		9.7	13.2	2.7	20.2	178	5.1	10.8	1.2	24.1	14.5	14.3
8月		10.4	13.4	2.6	21.4	285	7.1	7.1	-11.7	0.6	14.7	14.1
9月	7.8	10.2	13.3	3.1	19.6	152	-0.4	7.4	-16.8	4.9	14.2	14.3
10月		10.3	13.3	3.2	19.2	311	5.6	7.5	-8.2	1.2	14.3	14.1
11月		10.0	13.7	3.0	17.6	338	12.7	5.4	-9.3	2.3	14.2	14.2
12月	7.7	9.7	13.6	2.5	17.2	256	4.3	8.6	-3.4	-42.6	13.6	14.1
2014年												
1月				2.5	19.8	319	10.5	10.8	-8.6	-4.5	13.2	14.3
2月				2.0		-230	-18.1	10.4	1.3	4.0	13.3	14.2
3月	7.4	8.8	12.2	2.4	17.3	77	-6.6	-11.3	6.1	-1.5	12.1	13.9
4月		8.7	11.9	1.8	16.6	185	0.8	0.7	0.5	3.4	13.2	13.7
5月		8.8	12.5	2.5	16.9	359	7.0	-1.7	8.4	-6.6	13.4	13.9
6月	7.5	9.2	12.4	2.3	17.9	316	7.2	5.5	10.3	0.2	14.7	14.0
7月		9.0	12.2	2.3	15.6	473	14.5	-1.5	14.0	-17.0	13.5	13.4
8月		6.9	11.9	2.0	13.3	498	9.4	-2.1	5.2	-14.0	12.8	13.3
9月	7.3	8.0	11.6	1.6	11.5	310	15.1	7.2	9.4	1.9	11.6	13.2
10月		7.7	11.5	1.6	13.9	454	11.6	4.6	8.7	1.3	12.1	13.2
11月		7.2	11.7	1.4	13.4	545	4.7	-6.7	-8.6	22.2	12.0	13.4
12月	7.3	7.9	11.9	1.5	12.6	496	9.5	-2.3	6.1	10.3	11.0	13.6
2015年												
1月				0.8		600	-3.3	-20.0	2.2	-1.1	10.6	14.3
2月				1.4		606	48.3	-20.8	49.8	0.1	11.1	14.7
3月	7.0	5.6	10.2	1.4	13.1	31	-15.0	-12.9	0.3	1.3	9.9	14.7

注：1. ①「実質 GDP 増加率」は前年同期（四半期）比、その他の増加率はいずれも前年同月比である。
2. 中国では、旧正月休みは年によって月が変わるため、1月と2月の前年同月比は比較できない場合があるので注意されたい。また、（ ）内の数字は1月から当該月までの合計の前年同期に対する増加率を示している。
3. ③「消費財小売総額」は中国における「社会消費財小売総額」、④「消費者物価指数」は「住民消費価格指数」に対応している。⑤「都市固定資産投資」は全国総投資額の86%（2007年）を占めている。⑥―⑧はいずれもモノの貿易である。⑨と⑩は実施ベースである。

出所：①―⑤は国家统计局統計、⑥⑦⑧は海関統計、⑨⑩は商務部統計、⑪⑫は中国人民銀行統計による。